

歴史の歩み

図書館atriaはかつて、国際女性運動史料館International Information Centre and Archives for the Women's Movement (IAV) という名で呼ばれていました。20世紀初頭という早い段階で女性運動の遺産を資料として残そうと、動き出していました。

IAV設立者の一人であるRosa Manusは、自身が持つ300冊の本をもとに、コレクションを開始しました。その後、オランダ初の医師で、女性参政権獲得のために活動する社会運動家であるAlleta Jacobs (1854-1929)は、女性に関するアーカイブ資料をManusに寄付しました。1940年代、戦争で多くの資料が荒らされ、散逸してしまいましたが、2003年にその一部はモスクワで再発見され、長い交渉の末に取り戻すことができました。

IAVは、1965年から1980年代半ばの第二波フェミニズム運動のなかでも、豊富な資料収集をしていました。その一部は2003年にデジタル化され、現在オンラインでも閲覧することができます。



有償利用

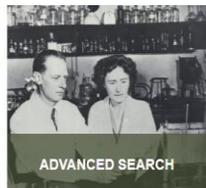
- ① 1回ごとの利用：7.5€の登録料を支払う必要があります。4週間で1冊につき1€で借りることができます。
- ② 年間での利用：定期的に借りられる方は、年会費25€で利用できます。追加料金はありません。

世界の女性・ジェンダー図書館めぐり

紹介ポスターシリーズ第7弾

図書館atriaの運営機構

atriaはジェンダー平等と女性の歴史研究所によって運営されています。そのため、図書館としての資料閲覧・貸出やデジタル資料、コレクション、アーカイブのほか、研究所の研究活動にも携わっています。研究所ではNewsLetterの刊行や出版物の発行をしており、atriaもオランダの教育・文化・科学から三つの5年プログラム大規模助成を得ています。今後は、文化遺産、ジェンダーに基づく暴力、ケアとワーク、ステレオタイプ、ダイバーシティなどのテーマを中心に活動していく予定です。



図書館の利用情報

(コロナの影響で一時的に閉鎖しましたが、2021年5月20日より利用再開)

開館時間

火曜～金曜
10:00 - 17:00

蔵書数

アーカイブ：700種類
本：105,000冊
写真：30,000枚
音楽関連資料：604人の女性の楽譜や演奏のCD
女性による自伝：263部
on-lineでは外部のコレクション利用も可能